Soliton

電子割符ゲートウェイ

Tally-WariZen

タリーワリゼン

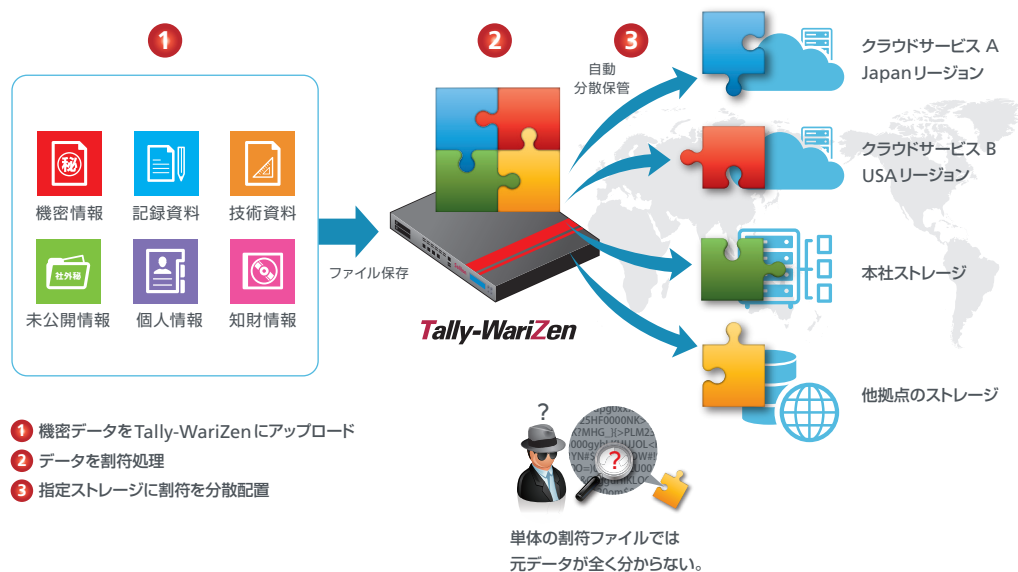
機密データを「割符化」し、分散保管
情報漏洩から機密を守り、安全・確実なデータ保管を実現

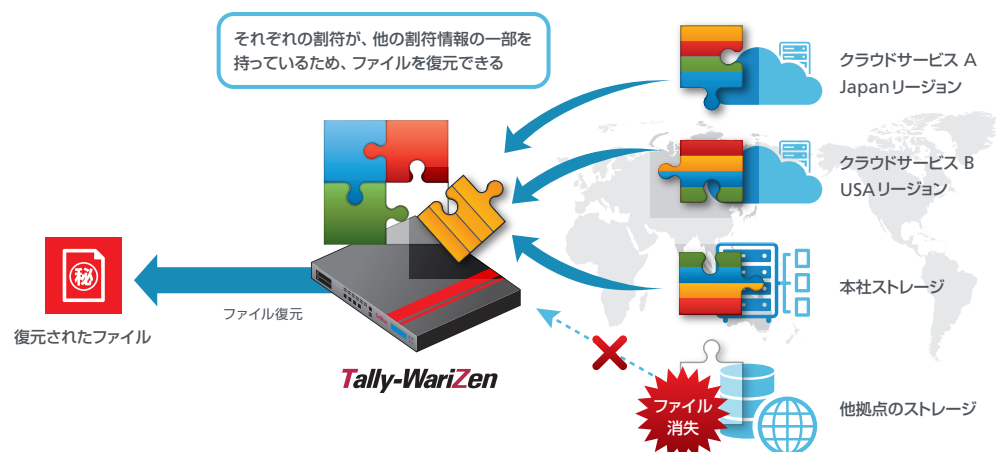
- 導入しやすいアプライアンス型の電子割符ソリューション
- マルチデバイス対応で、専用ソフトウェア不要
- 様々なネットワークストレージ・クラウドストレージに対応
- 強固な認証、割符・復元操作ログ、定期ベリファイ等のセキュリティ機能

クラウドストレージを安全活用！

Tally-WariZenは、電子割符技術で機密データの安全
漏えいリスク・消失リスクを同時に低減し、機密データ

元の内容が一切分からない割符に分割し、安全に保管

機密データを割符技術で分割し、各種ストレージに分散保管します。分割したファイル（割符データ）からは、元データの内容が一切分からないため、クラウドストレージを安全に利用できます。

一部の割符が消失しても、元データを復元できる

機密データを割符化する際にデータに冗長を持たせることで、一部の割符データが不測の事態で消失しても元データを復元することができます。決して失ってはならない機密データの災害対策に有効です。

電子割符ゲートウェイによるデータ保全

保管を実現するアプライアンスです。

の分散保管を実現します。

電子割符とは？

電子割符とは、1つのデータを元データとは全く関係のないデータに分割し、保護する技術。元データはビットレベルで分割・割符化されます。1つの割符データからは、元の内容が一切分からないため、個人情報等の機密データを安全に保管することができます。また、データを復元するためには、基本、すべての割符データが必要ですが、割符化する際にデータに冗長を持たせることで、一部の割符データが欠けても元データを復元することが可能です。

選べるストレージ（オンプレミス・クラウド）

Tally-WariZenで利用する割符保管先ストレージは、お客様が自由に設定できます。CIFS、iSCSI、NFS、WebDAV、Amazon S3、FileZenに対応。お客様のポリシーに合わせた利用が実現できます。

クラウドストレージ

ファイルサーバー

ネットワークストレージ

エージェントレス、マルチデバイス対応

Tally-WariZenは、様々なデバイスから利用可能することができます。Webブラウザからのアクセスだけでなく、専用API※を利用することで、他システムとの連携も可能です。また、オフラインでの割符・復元処理にも対応できるよう、専用エージェントソフトウェア※も用意しています。

※順次提供予定

強固な認証、ファイル操作ログの取得

Tally-WariZenへのアクセス認証では、ID・パスワードによる利用者認証、デジタル証明書を利用した強固な端末認証が可能です。また、いつ、誰が、どのファイルをアップロードし、復元したのかを記録、関係者にメール通知することも可能です。

導入・運用が容易なアプライアンス

Tally-WariZenは、NAOS™（ネイオス）を搭載した専用アプライアンスです。NAOSはソリトンのNetAttestシリーズで実績豊富な専用OSです。長期間の利用においても安定稼働できるようチューニングされているほか、本体の自動バックアップなどの各種運用機能も実装されています。

セキュアな運用を実現するデータ割符化の厳密なチェック、定期的な復元確認

Tally-WariZenでは、元データを割符化する際に厳密なチェックを行っています。また、定期的に、割符データから元データが復元可能かどうかのチェックを行う定期ベリファイ機能を実装しています。長期保管時にも、確実にファイルを復元するための様々な工夫が施されています。

● Tally-WariZenの割符処理チェック（概要）

開始

元データのハッシュチェック

割符処理

割符データのアップロード

割符データのダウンロード

復元処理

元データと比較

終了

割符モード

3つのモードから選択できます。最低分割数は3、最大は10までです。元データは、設定した割符保管ストレージ数に応じて、自動的に分割されます。鍵割符は、割符保管ストレージとは別のストレージに保管します。

等分割モード

元ファイル　割符化　A 復元　B 復元　C 復元　復元ファイル

ファイルの復元には全ての割符が必要

冗長分割モード

一部の割符が消失しても復元可能
3～4に分割した場合は1つ、5～10に分割した場合は2つ消失しても復元可能

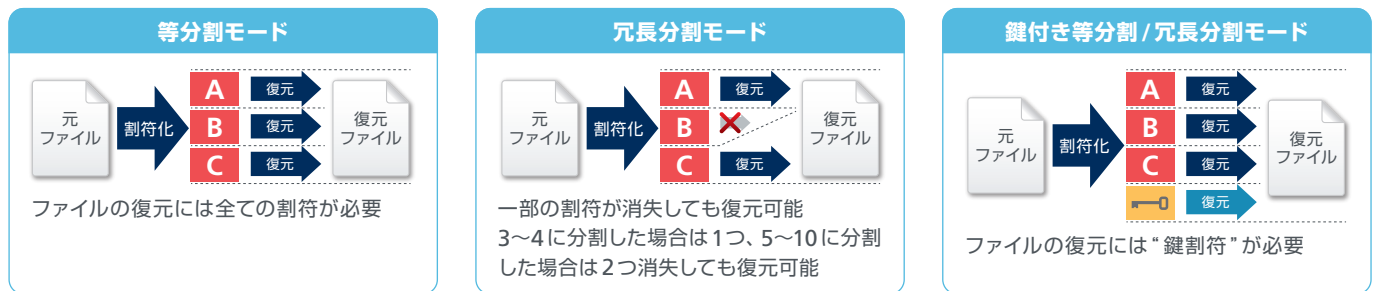
鍵付き等分割／冗長分割モード

ファイルの復元には"鍵割符"が必要

利用方法（アップロード、ダウンロード）

ファイルアップロード（割符化）

保存ファイルを指定　アップロード完了

ファイルダウンロード（復元）

復元ファイルを指定　ファイルダウンロード

コラム　電子割符が個人情報・機密情報の保存に最適な理由

電子割符技術により分割された一つのピースからは、原本を復元するための情報が足りず、原本データを特定できないという原理的な特性があります。このため、原本が個人情報・機密情報であっても、割符処理されたピース単独では、個人情報・機密情報とは認められないという法的見解も提示されています。

『個人情報保護法上の「個人情報」であるためには、当該情報から個人が識別され、あるいは暗号化などであっても、ある種の措置により復元可能である場合にはなお個人情報となるとされるが、この要件からは電子割符を評価すれば、単体としての電子割符の情報は、（他の割符と容易に照合ないし結合できる状態でない限り）個人情報とはいえない情報であるということができる。』電子的割符に対する法的見解※

このような電子割符技術は、セキュアな運用をもって初めてその効果を発揮します。Tally-WariZenは、導入・運用が手軽なアプライアンス型で、電子割符を用いた重要データの保存を実現します。

※JIPDEC『ECにおける情報セキュリティに関する活動報告書2009』『秘密分散技術利活用検討における活動成果報告書2009（TF1）』別紙の「情報分散管理技術に関する法的意見書」（2010.2）より

製品仕様

モデル番号	TWZ-DX51-A	TWZ-ST81-A
最大ファイル管理数（割符前）	3,000万	1,000万
内蔵HDDへの割符保存	○	—
対応外部ストレージ	CIFS、iSCSI、NFS、WebDAV、Amazon S3、FileZen	
対応外部認証サーバー	RADIUS（PAP、CHAP）	
証明書失効確認	CRL（HTTPによる取得）	
ログ出力	ローカル、syslog、NetAttest BigData	
ネットワークインターフェイス	10/100/1000BASE-T（X）自動認識 & Auto-MDI-X ×4	
形状	EIA19インチラックマウントタイプ 2U	EIA19インチラックマウントタイプ 1U
外形寸法（W×H×D）	438 mm×88 mm×405 mm	438 mm×44 mm×405 mm
重量	14.8 kg	7.8 kg
電源	90～264Vac、47～63Hz（90～135Vacのみサポート）	90～264Vac、47～63Hz（90～135Vacのみサポート）
最大消費電力	220 VA	121 VA
発熱量	750.3 BTU/h、189.0 kcal、220 W	412.8 BTU/h、104.1 kcal、121 W
動作環境	温度0～40℃、湿度20～90% RH結露無きこと	
適合規格	VCCI（Class A）、FCC（Class A）、CE、UL、RoHS、PSE（電源ケーブル）	

※保存容量に応じた、サブスクリプションライセンスが別途必要です。

※ 本製品で利用している電子割符・秘密分散技術は、グローバルフレンドシップ株式会社GFI電子割符®PRO V2を利用しています。

⚠ 安全に関するご注意　正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

Soliton®
株式会社ソリトンシステムズ　http://www.soliton.co.jp/
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-4-3
TEL 03-5360-3811　FAX 03-3356-6354　netsales@soliton.co.jp
大阪営業所 06-6821-6777　福岡営業所 092-263-0400
名古屋営業所 052-963-9700　東北営業所 022-716-0766
札幌営業所 011-242-6111

このカタログは2013年9月現在のものです。仕様、デザインは予告なく変更することがあります。
TWZ-1309A